

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人本山育成会】 事業所名 【就労継続支援 B 型事業所りんどう】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし	/		16	5
床下浸水	0.5m 以下		2	
床上浸水	1.0m		1	
木造家屋の半数が全壊	2.0m			
木造家屋の殆どが全壊	3.0m		1	
2 階建ての建物が水没	5.0m 以上			
3 階建ての水没	10m 以上			
合計	/		20	5

※通園児童は調査対象から除く

以下同法人の同一敷地内にある障害者支援施設しゃくなげ荘と共有している

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・中・**低い**）
建物は耐震性があり、窓ガラスもアクリル板にしている。
標高から考え、津波の心配はないが、土砂災害の可能性がある。
- ② 進入道路等の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）
施設周辺が土砂災害警戒地域となっており、道路の寸断が予想される。

3. 準備状況（入所 50 名、福祉避難所 25 名を想定）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有** 無

電気	YAMAHA 発電機 EA2300 (2KVA) × 2 LED ランタン × 4 台、懐中電灯 × 4 台 投光機 × 6 台
燃料	灯油 200L 法人所有のガソリン車
ガス	ガスボンベ大 × 8、ガスボンベ中 × 2、ガスボンベ小 × 3 携帯ガスボンベ 8 本
飲料水 75 名 × 3 日分	ペットボトル（2L × 6 本 × 40 ケース）20 ポリタンク × 3 個 山水（煮沸の必要あり）

生活用水	山水、近隣の河川
------	----------

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他） 有 ・ 無

主食 75名3日分	非常食：白米 120食：自家栽培米 200kg ※日常給食用 90kg	
副食 75名3日分	みそ汁×240食、ハンバーグ×60食 うどん×60食、ラーメン×60食 牛丼×60食、さば味噌×60食 就労B型で栽培している販売用野菜、山菜等	
特別食	無	普通食を調理予定
定期薬	入所者 50名：1週間	
医薬品	通常使用している医薬品をストックしている。	

③ トイレの準備状況

ポータブルトイレ×3台、ビニール袋多数あり
トイレットペーパー、タオルペーパーは災害用に備蓄している。

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他） 有 ・ 無
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	無
MCA無線	無
無線機	4台
安否確認システム	無
その他	携帯電話3台 Twitter 171 災害伝言ダイヤル

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む） 有 ・ 無
タブレットに留意事項や服薬の情報を入力している。紙媒体

⑥ BCP策定の有無（利用者の安否確認含む） 有 ・ 無
H28年5月策定済

⑦ 改善の必要な整備

現在整備している発電機がスタンダード型であり、周波数が一定でなく、パソコン等の精密機械に向いておらず、故障の原因にもなる為、代替え案を検討中。

4. 避難場所

近隣のグラウンド
作業用倉庫

5. 福祉避難所の指定

・受けている

・受けていない

- ①福祉避難所の指定を受けている場合、福祉避難所の開設や運営に関する訓練や取り決めがあればご記入下さい。

福祉避難所の開設に関しては行政（本山町）と協定を締結しており、災害時には行政から開設依頼が出され、施設長が建物、職員等の配置を確認し、開設の承認を行う。

開設にかかる経費は行政負担としている。

訓練は未だ実施していない。

以上